



## 平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月4日

上場会社名 ヤマハ発動機株式会社

上場取引所 東

コード番号 7272 URL <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 弘之

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大村 学

TEL 0538-32-1103

四半期報告書提出予定日 平成22年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	987,402	15.0	48,773	—	61,394	—	31,067	—
21年12月期第3四半期	858,509	—	△44,967	—	△43,859	—	△158,755	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	96.12	96.12
21年12月期第3四半期	△555.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	1,007,521	331,005	29.1	840.21
21年12月期	987,077	249,266	21.5	743.04

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 293,314百万円 21年12月期 212,397百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300,000	12.7	50,000	—	64,000	—	26,000	—	78.85

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、添付資料5ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期3Q	349,757,784株	21年12月期	286,507,784株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	659,838株	21年12月期	658,149株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	22年12月期3Q	323,210,432株	21年12月期3Q	285,970,784株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的であると判断した見通しであり、実際の業績は、経営環境の悪化、市場の需要動向、為替の変動等のリスク、不確実性等の要因により、大きく異なる可能性があります。リスク、不確実性等の要因に関する詳細は、当社の第75期有価証券報告書(平成22年3月26日提出)に記載していますのでご参照下さい。業績予想に関しては添付資料5ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

また、平成22年12月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、平成22年4月・5月に行った公募増資等による新株式発行を反映して算出しています。公募増資等に関しては添付資料16ページ「3. (6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記」をご参照下さい。

なお、文章中における億円の単位の表示は、億円未満を四捨五入しています。

○添付資料の目次

《売上高の事業／地域 セグメント別内訳》	2
1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	3
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	3
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
第3四半期連結会計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16

※ 当社は、以下のとおり機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成22年11月4日（木）・・・・・・機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

《売上高の事業／地域 セグメント別内訳》

（単位：千台、百万円未満切捨て）

セグメント		（参考） 前第3四半期連結累計期間 （自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）			当第3四半期連結累計期間 （自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）			当第3四半期連結会計期間 （自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）			
		数量	金額		数量	金額		数量	金額		
			構成比%			構成比%			構成比%		
合計	日本	—	98,269	11.4	—	108,725	11.0	—	35,962	11.6	
	海外	—	760,240	88.6	—	878,677	89.0	—	275,273	88.4	
	地域別内訳	北米	—	134,639	15.7	—	126,032	12.8	—	38,487	12.4
	欧州	—	163,098	19.0	—	138,074	14.0	—	35,163	11.3	
	アジア	—	352,558	41.1	—	484,423	49.1	—	156,504	50.3	
	その他	—	109,944	12.8	—	130,147	13.1	—	45,117	14.4	
	合計	—	858,509	100.0	—	987,402	100.0	—	311,235	100.0	
二輪車	日本	86	30,095	(5.0)	76	24,706	(3.6)	25	8,456	(4.0)	
	海外	4,097	577,716	(95.0)	5,048	663,631	(96.4)	1,621	203,392	(96.0)	
	地域別内訳	北米	81	52,386	(8.6)	40	27,305	(4.0)	5	3,254	(1.5)
	欧州	226	117,853	(19.4)	187	92,908	(13.5)	52	23,434	(11.1)	
	アジア	3,517	337,478	(55.5)	4,486	455,998	(66.2)	1,441	145,874	(68.9)	
	その他	273	69,998	(11.5)	335	87,419	(12.7)	124	30,829	(14.5)	
	合計	4,183	607,811	70.8	5,124	688,337	69.7	1,647	211,849	68.1	
マリン	日本	—	17,898	(15.2)	—	16,584	(12.4)	—	5,383	(14.3)	
	海外	—	100,092	(84.8)	—	116,950	(87.6)	—	32,334	(85.7)	
	地域別内訳	北米	—	45,153	(38.3)	—	57,130	(42.8)	—	16,267	(43.1)
	欧州	—	28,227	(23.9)	—	29,176	(21.8)	—	5,822	(15.4)	
	アジア	—	4,814	(4.1)	—	6,985	(5.2)	—	2,505	(6.6)	
	その他	—	21,897	(18.5)	—	23,657	(17.8)	—	7,738	(20.6)	
	合計	—	117,991	13.7	—	133,534	13.5	—	37,718	12.1	
特機	日本	—	6,807	(9.5)	—	8,336	(11.1)	—	2,722	(8.9)	
	海外	—	64,780	(90.5)	—	66,721	(88.9)	—	27,930	(91.1)	
	地域別内訳	北米	—	36,643	(51.2)	—	40,672	(54.2)	—	18,677	(60.9)
	欧州	—	14,522	(20.3)	—	12,273	(16.4)	—	4,566	(14.9)	
	アジア	—	3,302	(4.6)	—	4,829	(6.4)	—	1,629	(5.3)	
	その他	—	10,311	(14.4)	—	8,946	(11.9)	—	3,057	(10.0)	
	合計	—	71,587	8.3	—	75,058	7.6	—	30,652	9.8	
その他	日本	—	43,468	(71.1)	—	59,098	(65.3)	—	19,399	(62.5)	
	海外	—	17,650	(28.9)	—	31,373	(34.7)	—	11,615	(37.5)	
	地域別内訳	北米	—	454	(0.7)	—	925	(1.0)	—	288	(0.9)
	欧州	—	2,495	(4.1)	—	3,716	(4.1)	—	1,339	(4.3)	
	アジア	—	6,962	(11.4)	—	16,609	(18.4)	—	6,494	(20.9)	
	その他	—	7,737	(12.7)	—	10,122	(11.2)	—	3,492	(11.4)	
	合計	—	61,118	7.2	—	90,471	9.2	—	31,015	10.0	

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（7～9月）の経済環境は、日本では円高の進行などもあり引き続き先行きが不透明な状況で推移し、また欧米では依然として景気回復の動きが鈍く、当社グループの主要事業であるレジャー商品の需要動向は厳しい状況が続いています。一方、アセアンを始めとする新興国では景気拡大傾向が続き、当第3四半期の売上高は前年同期比11.5%増加の3,112億円となりました。利益面では、為替円高による減益影響はあったものの、アセアンでの二輪車の販売増加や、先進国事業の収益構造改革による償却費や人件費の削減及び経費圧縮などで、営業利益137億円（前年同期比252億円改善）、経常利益176億円（同246億円改善）となりました。四半期純利益は、前年同期に日本及び欧米の固定資産の減損や従業員の早期退職にかかる費用として事業構造改善費用735億円を計上したことなどにより、913億円改善となる73億円となりました。

当第3四半期累計（1～9月）の売上高は前年同期比15.0%増加の9,874億円となり、営業利益は488億円（同937億円改善）、経常利益は614億円（同1,053億円改善）、四半期純利益は311億円（同1,898億円改善）となりました。

## ○ セグメント別の概況

## ① 事業の種類別セグメント

## 〔二輪車事業〕

当第3四半期（7～9月）は、欧米市場の売上高は、需要の減少、為替換算差による減収影響、及び米国では流通在庫適正化の途上であることにより、前年同期比減少しました。一方、アセアンなどの新興国では販売が好調に推移し、二輪車事業全体の売上高は同7.1%増加の2,118億円となりました。営業利益は、為替円高による減益影響はあるものの、アセアンなどでの販売増加や先進国事業の収益構造改革による固定費削減効果などにより119億円（同133億円改善）となりました。当第3四半期累計（1～9月）の売上高は前年同期比13.2%増加の6,883億円、営業利益は380億円（同413億円改善）となりました。

## 〔マリン事業〕

当第3四半期（7～9月）は、米国市場での船外機の小売販売、卸出荷ともに前年同期を上回り、マリン事業全体の売上高は同8.5%増加の377億円となりましたが、為替円高による減益影響もあり、5億円の営業損失（同57億円改善）となりました。当第3四半期累計（1～9月）の売上高は前年同期比13.2%増加の1,335億円、営業利益は37億円（同196億円改善）となりました。

## 〔特機事業〕

当第3四半期（7～9月）は、米国市場での四輪バギーの小売販売は前年同期比減少となったものの、前年に在庫調整を実施した影響もあり、卸出荷は増加し、特機事業全体の売上高は同27.2%増加の307億円、営業損失30億円（同7億円改善）となりました。当第3四半期累計（1～9月）の売上高は、前年同期比4.8%増加の751億円、営業損益は、前年同期に比べ製造物賠償責任引当金繰入額が減少したことなどにより同164億円改善し、72億円の営業損失となりました。

## 〔その他の事業〕

当第3四半期（7～9月）は、サーフェスマウンターや自動車エンジン、電動アシスト自転車の需要の回復などにより売上高は前年同期比38.0%増加の310億円となり、営業利益は53億円（同55億円改善）となりました。当第3四半期累計（1～9月）の売上高は前年同期比48.0%増加の905億円、営業利益は142億円（同165億円改善）となりました。

## ② 所在地別セグメント

## 〔日本〕

サーフェスマウンター、自動車エンジン、電動アシスト自転車などの売上高が増加したことなどにより、当第3四半期（7～9月）の売上高は前年同期比44.4%増加の1,382億円となりました。営業損益は生産台数増加による限界利益の増加や固定費削減効果があったものの、為替円高による減益影響などにより、33百万円の営業損失（同163億円改善）となりました。当第3四半期累計（1～9月）の売上高は前年同期比19.8%増加の4,064億円、営業利益は7億円（同454億円改善）となりました。

## 〔北 米〕

二輪車の売上高は、レジャー需要の回復の遅れが続いており前年同期比減少しましたが、船外機、四輪バギーの売上高は増加し、当第3四半期（7～9月）の売上高は同24.9%増加の432億円、53億円の営業損失（同32億円改善）となりました。また、当第3四半期累計（1～9月）の売上高は前年同期比8.7%減少の1,361億円、営業損失は86億円（同210億円改善）となりました。

## 〔欧 州〕

二輪車、船外機、四輪バギーの売上高が減少し、当第3四半期（7～9月）の売上高は前年同期比13.7%減少の346億円、営業利益は収益構造改革による固定費削減効果などにより、6億円（同27億円改善）となりました。当第3四半期累計（1～9月）の売上高は前年同期比16.0%減少の1,368億円、営業利益は31億円（同69億円改善）となりました。

## 〔アジア〕

インドネシア、タイ、ベトナムなどでの二輪車の販売が好調に推移し、当第3四半期（7～9月）の売上高は前年同期比12.7%増加の1,588億円、営業利益は146億円（同43.7%増加）となりました。当第3四半期累計（1～9月）の売上高は前年同期比33.6%増加の4,940億円、営業利益は465億円（同121.8%増加）となりました。

## 〔その他〕

ブラジルでの二輪車の販売台数の増加などにより、その他の地域の当第3四半期（7～9月）の売上高は前年同期比19.6%増加の364億円、営業利益は41億円（同41億円増加）となりました。当第3四半期累計（1～9月）の売上高は前年同期比21.8%増加の1,041億円、営業利益は64億円（同68億円改善）となりました。

なお、所在地別セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでいます。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の財政状態につきましては、流動資産が前期末比470億円増加し、固定資産は同265億円減少したことにより、総資産は同204億円増加の1兆75億円となりました。純資産は公募増資等により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ373億円増加し、また利益剰余金が同311億円増加したことなどにより、同817億円増加の3,310億円となりました。

当第3四半期（7～9月）のキャッシュ・フローの概況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは330億円、投資活動によるキャッシュ・フローは△101億円となりました。これらにより当第3四半期（7～9月）のフリー・キャッシュ・フローは229億円となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは△141億円となりました。

当第3四半期累計（1～9月）のキャッシュ・フローの概況につきましては、税金等調整前四半期純利益612億円及び、減価償却費277億円、仕入債務の増加205億円などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは、1,172億円となりました。

また、投資活動によるキャッシュ・フローは、△235億円となりました。これは主に設備投資を償却費の範囲内に抑えたことで、設備の取得による支出が△218億円となったことによります。これらによりフリー・キャッシュ・フローは938億円のプラスになりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、公募増資等により746億円調達する一方、フリー・キャッシュ・フローで獲得した資金を長期及び短期借入金の返済に充てたことなどにより、73億円となりました。

これらの結果、当第3四半期末の有利子負債は3,222億円（前期末比777億円減少）、現金及び現金同等物は2,333億円（同961億円増加）となりました。なお、有利子負債には販売金融に関する借入金が、1,098億円含まれます。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期通期の連結業績予想につきましては、平成22年8月4日に発表いたしました予想値に対し、米ドルでの為替円高はあるものの、アセアンでの二輪車の販売台数の増加、及び更なるコスト削減効果が見込まれることから、下記のとおり修正いたします。

なお、第4四半期の為替レートは米ドル80円(前回予想比5円の円高、前年同期比10円の円高)、ユーロ110円(同2円の円安、同23円の円高)、通期の為替レートは米ドル87円(同1円の円高、同7円の円高)、ユーロ115円(前回予想どおり、同15円の円高)の設定です。

	連結
売上高	13,000億円 (前回予想比 増減無し) (前期比 12.7%増加)
営業利益	500億円 (前回予想比 50億円増加) (前期比 1,126億円増加)
経常利益	640億円 (前回予想比 90億円増加) (前期比 1,323億円増加)
当期純利益	260億円 (前回予想比 10億円増加) (前期比 2,421億円増加)

(注) 前回予想比は平成22年8月4日に発表した当期業績予想に対する増減です。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## ①簡便な会計処理

## (棚卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

## (固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっています。

## ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## (「企業結合に関する会計基準」等の適用)

当第3四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	234,085	137,328
受取手形及び売掛金	181,483	201,684
商品及び製品	138,637	147,380
仕掛品	37,884	42,746
原材料及び貯蔵品	36,985	33,401
その他	45,565	66,550
貸倒引当金	△6,878	△8,291
流動資産合計	667,763	620,800
固定資産		
有形固定資産	255,252	275,556
無形固定資産	4,128	4,802
投資その他の資産		
投資その他の資産	81,809	87,222
貸倒引当金	△1,433	△1,305
投資その他の資産合計	80,376	85,917
固定資産合計	339,757	366,276
資産合計	1,007,521	987,077
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	126,243	110,147
短期借入金	35,138	87,574
1年内返済予定の長期借入金	15,617	30,470
未払法人税等	8,223	2,480
引当金		
賞与引当金	12,792	8,052
製品保証引当金	26,853	22,403
その他の引当金	1,609	926
引当金計	41,255	31,383
その他	102,088	117,642
流動負債合計	328,566	379,698
固定負債		
長期借入金	271,456	281,898
引当金		
退職給付引当金	37,343	34,748
製造物賠償責任引当金	23,819	24,715
その他の引当金	1,294	1,746
引当金計	62,457	61,210
その他	14,035	15,002
固定負債合計	347,948	358,111
負債合計	676,515	737,810



（単位：百万円未満切捨て）

	当第3四半期連結会計期間末 （平成22年9月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年12月31日）
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	85,666	48,342
資本剰余金	98,147	60,824
利益剰余金	211,936	180,880
自己株式	△680	△677
株主資本合計	395,070	289,369
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,057	4,039
土地再評価差額金	10,208	10,208
為替換算調整勘定	△114,022	△91,220
評価・換算差額等合計	△101,756	△76,971
新株予約権	96	72
少数株主持分	37,595	36,796
純資産合計	331,005	249,266
負債純資産合計	1,007,521	987,077

(2) 四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円未満切捨て)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	858,509	987,402
売上原価	704,895	761,855
売上総利益	153,614	225,547
販売費及び一般管理費	198,582	176,773
営業利益又は営業損失(△)	△44,967	48,773
営業外収益		
受取利息	6,166	6,743
その他	9,626	16,095
営業外収益合計	15,792	22,839
営業外費用		
支払利息	7,823	6,274
その他	6,860	3,944
営業外費用合計	14,683	10,219
経常利益又は経常損失(△)	△43,859	61,394
特別利益		
固定資産売却益	273	418
事業譲渡益	—	106
その他	2	3
特別利益合計	276	528
特別損失		
固定資産売却損	185	140
固定資産処分損	661	542
減損損失	239	0
事業構造改善費用	73,466	—
その他	11	37
特別損失合計	74,563	720
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△118,146	61,202
法人税、住民税及び事業税	10,007	25,002
法人税等調整額	28,690	△1,371
法人税等合計	38,697	23,631
少数株主利益	1,911	6,503
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△158,755	31,067

## 第3四半期連結会計期間

（単位：百万円未満切捨て）

	前第3四半期連結会計期間 （自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）	当第3四半期連結会計期間 （自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）
売上高	279,116	311,235
売上原価	229,049	237,821
売上総利益	50,067	73,414
販売費及び一般管理費	61,551	59,710
営業利益又は営業損失（△）	△11,483	13,704
営業外収益		
受取利息	2,222	2,124
その他	5,694	4,962
営業外収益合計	7,916	7,086
営業外費用		
支払利息	2,320	1,796
デリバティブ評価損	—	1,103
その他	1,088	305
営業外費用合計	3,408	3,205
経常利益又は経常損失（△）	△6,975	17,585
特別利益		
固定資産売却益	63	227
事業譲渡益	—	106
特別利益合計	63	333
特別損失		
固定資産売却損	14	76
固定資産処分損	298	182
事業構造改善費用	73,466	—
その他	—	34
特別損失合計	73,779	293
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△80,691	17,624
法人税、住民税及び事業税	3,516	6,394
法人税等調整額	△1,148	1,833
法人税等合計	2,367	8,228
少数株主利益	984	2,104
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△84,043	7,291

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△118,146	61,202
減価償却費	43,003	27,689
減損損失	239	0
事業構造改善費用	70,300	—
事業譲渡損益(△は益)	—	△106
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,738	△603
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,311	3,146
製造物賠償責任引当金の増減額(△は減少)	10,864	410
受取利息及び受取配当金	△6,486	△7,353
支払利息	7,823	6,274
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△87	△278
有形及び無形固定資産処分損益(△は益)	661	542
売上債権の増減額(△は増加)	61,984	535
たな卸資産の増減額(△は増加)	81,605	△3,429
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,881	20,474
その他	△27,660	10,538
小計	59,269	119,045
利息及び配当金の受取額	6,907	7,750
利息の支払額	△7,532	△6,099
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,435	△3,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,209	117,230
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△399	△2,254
定期預金の払戻による収入	461	1,604
有形及び無形固定資産の取得による支出	△38,341	△21,816
有形及び無形固定資産の売却による収入	5,409	1,577
事業譲渡による収入	—	250
その他	△5,215	△2,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,085	△23,455
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金及びコマース・ペーパーの増減額(△は減少)	△136,578	△45,456
長期借入れによる収入	190,573	20,472
長期借入金の返済による支出	△21,654	△38,375
株式の発行による収入	—	74,647
自己株式の増減額(△は増加)	△496	△2
配当金の支払額	△1,432	—
少数株主への配当金の支払額	△2,011	△3,750
その他	△510	△208
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,890	7,326
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,971	△5,093
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	50,985	96,007
現金及び現金同等物の期首残高	134,364	137,219
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	68
現金及び現金同等物の四半期末残高	185,349	233,295

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円未満切捨て）

	二輪車事業	マリン事業	特機事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	197,777	34,777	24,094	22,467	279,116	—	279,116
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	18,327	18,327	(18,327)	—
計	197,777	34,777	24,094	40,794	297,443	(18,327)	279,116
営業損失(△)	△1,324	△6,216	△3,676	△267	△11,483	0	△11,483

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類及び販売市場等の類似性に基づいています。

2. 各事業区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
二輪車	二輪車、海外生産用部品
マリン	船外機、ウォータービークル、ボート、プール、漁船・和船、ディーゼルエンジン
特機	四輪バギー、サイド・バイ・サイド・ビークル、スノーモビル、ゴルフカー、発電機、除雪機、汎用エンジン
その他	サーフェスマウンター、産業用ロボット、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、自転車、産業用無人ヘリコプター、車椅子、中間部品

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円未満切捨て）

	二輪車事業	マリン事業	特機事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	211,849	37,718	30,652	31,015	311,235	—	311,235
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	19,968	19,968	(19,968)	—
計	211,849	37,718	30,652	50,984	331,204	(19,968)	311,235
営業利益又は営業損失 (△)	11,935	△468	△3,012	5,250	13,704	0	13,704

(注) 1. 事業区分の方法……………前第3四半期連結会計期間に同じ

2. 各事業区分に属する主要な製品……………前第3四半期連結会計期間に同じ

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	二輪車事業	マリン事業	特機事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	607,811	117,991	71,587	61,118	858,509	—	858,509
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	57,143	57,143	(57,143)	—
計	607,811	117,991	71,587	118,262	915,653	(57,143)	858,509
営業損失(△)	△3,238	△15,884	△23,595	△2,249	△44,967	0	△44,967

(注) 1. 事業区分の方法……………前第3四半期連結会計期間に同じ

2. 各事業区分に属する主要な製品……………前第3四半期連結会計期間に同じ

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	二輪車事業	マリン事業	特機事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	688,337	133,534	75,058	90,471	987,402	—	987,402
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	61,110	61,110	(61,110)	—
計	688,337	133,534	75,058	151,582	1,048,513	(61,110)	987,402
営業利益又は営業損失 (△)	38,014	3,698	△7,170	14,231	48,773	0	48,773

(注) 1. 事業区分の方法……………前第3四半期連結会計期間に同じ

2. 各事業区分に属する主要な製品……………前第3四半期連結会計期間に同じ

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	46,294	31,015	39,218	132,325	30,263	279,116	—	279,116
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,415	3,577	832	8,559	168	62,553	(62,553)	—
計	95,710	34,592	40,051	140,884	30,431	341,670	(62,553)	279,116
営業利益又は営業損失 (△)	△16,358	△8,456	△2,070	10,179	13	△16,692	5,208	△11,483

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 ……………米国、カナダ

(2) 欧州 ……………オランダ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア

(3) アジア ……………インドネシア、台湾、タイ、シンガポール、中国、ベトナム、インド

(4) その他 ……………ブラジル、オーストラリア、コロンビア、メキシコ

当第3四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	55,446	38,260	33,905	147,649	35,973	311,235	—	311,235
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	82,738	4,943	649	11,133	429	99,894	(99,894)	—
計	138,185	43,203	34,555	158,783	36,402	411,130	(99,894)	311,235
営業利益又は営業損失 (△)	△33	△5,261	608	14,626	4,134	14,074	(369)	13,704

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 ……………米国、カナダ

(2) 欧州 ……………オランダ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア

(3) アジア ……………インドネシア、ベトナム、タイ、台湾、中国、シンガポール、インド

(4) その他 ……………ブラジル、オーストラリア、コロンビア、メキシコ

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	139,006	134,300	160,407	340,196	84,598	858,509	—	858,509
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	200,079	14,688	2,466	29,590	840	247,666	(247,666)	—
計	339,086	148,989	162,874	369,787	85,439	1,106,176	(247,666)	858,509
営業利益又は営業損失 (△)	△44,656	△29,572	△3,768	20,942	△435	△57,489	12,521	△44,967

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域……………前第3四半期連結会計期間に同じ

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円未満切捨て)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	164,645	124,911	134,490	460,175	103,180	987,402	—	987,402
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	241,724	11,167	2,308	33,861	878	289,939	(289,939)	—
計	406,369	136,078	136,798	494,037	104,058	1,277,341	(289,939)	987,402
営業利益又は営業損失 (△)	706	△8,590	3,147	46,454	6,402	48,120	653	48,773

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域……………当第3四半期連結会計期間に同じ



【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円未満切捨て）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	32,273	39,943	138,025	35,767	246,010
II 連結売上高					279,116
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	11.6%	14.3%	49.5%	12.7%	88.1%

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- （1）北米 ……………米国、カナダ
- （2）欧州 ……………イタリア、フランス、スペイン、ドイツ、ロシア
- （3）アジア ……………インドネシア、タイ、ベトナム、台湾、中国、インド
- （4）その他 ……………ブラジル、オーストラリア、南アフリカ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高です。

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円未満切捨て）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	38,487	35,163	156,504	45,117	275,273
II 連結売上高					311,235
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	12.4%	11.3%	50.3%	14.4%	88.4%

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- （1）北米 ……………米国、カナダ
- （2）欧州 ……………フランス、イタリア、ドイツ、英国、ロシア
- （3）アジア ……………インドネシア、ベトナム、タイ、中国、台湾、インド
- （4）その他 ……………ブラジル、オーストラリア、南アフリカ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高です。

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円未満切捨て）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	134,639	163,098	352,558	109,944	760,240
II 連結売上高					858,509
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	15.7%	19.0%	41.1%	12.8%	88.6%

- （注） 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域……………前第3四半期連結会計期間に同じ  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高です。

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円未満切捨て）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	126,032	138,074	484,423	130,147	878,677
II 連結売上高					987,402
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	12.8%	14.0%	49.1%	13.1%	89.0%

- （注） 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域……………当第3四半期連結会計期間に同じ  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高です。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成22年4月20日を払込期日とする募集による新株式発行を実施し、発行済株式総数が55,000,000株、資本金が32,455百万円、資本準備金が32,455百万円増加しています。

また、平成22年5月11日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、発行済株式総数が8,250,000株、資本金が4,868百万円、資本準備金が4,868百万円増加しています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が37,323百万円、資本準備金が37,323百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金は85,666百万円、資本準備金は97,756百万円となっています。